

上越市第2次地球温暖化対策実行計画の概要(1) ～削減目標の設定～

1 第7次総合計画で掲げる重点テーマの一つ「脱炭素社会の形成(グリーン)」の推進

近年、世界各地で記録的な高温や大雨、森林火災、干ばつなど、地球温暖化による異常気象が頻発しています。

国では2050(令和32)年までに温室効果ガスを実質ゼロにするという高い目標を掲げ、その達成に向けて、化石燃料を由来とするエネルギーの転換を図るなど、脱炭素化に向けた取組を推進しています。

また、民間企業においても脱炭素経営に向けた取組が進み、国際的にもESG投資が重視されるなど、環境に配慮した取組を行う企業が選択される時代となりつつあります。

そこで、こうした脱炭素化に向けた対応を経済成長の制約やコスト負担と考えるのではなく、力強い成長を生み出す機会として捉えながら、当市の更なる魅力の向上や豊かな自然環境の保全と経済活動の両立に向け、まちの持続可能性を高めるとともに、地球環境への負荷を軽減するための取組を推進していきます。

2 温室効果ガスの削減目標の設定

～ 第2次地球温暖化対策実行計画の削減目標 ～

【区域施策編】 78P

短期目標：2013年度比**50%削減**を目指す … 第7次総合計画の目標としても設定

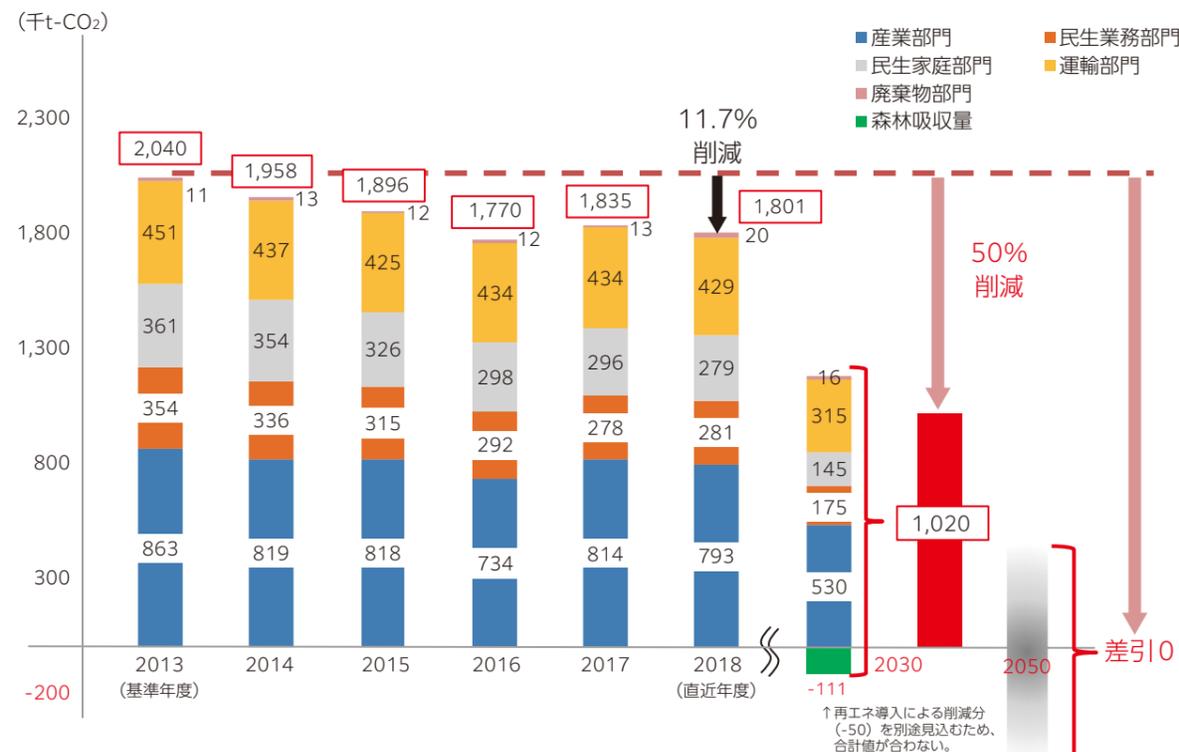
長期目標：2050年までに**カーボンニュートラル**を目指す

※「カーボンニュートラル」とは、CO₂排出量 - CO₂吸収量(森林等) ≤ 0のこと

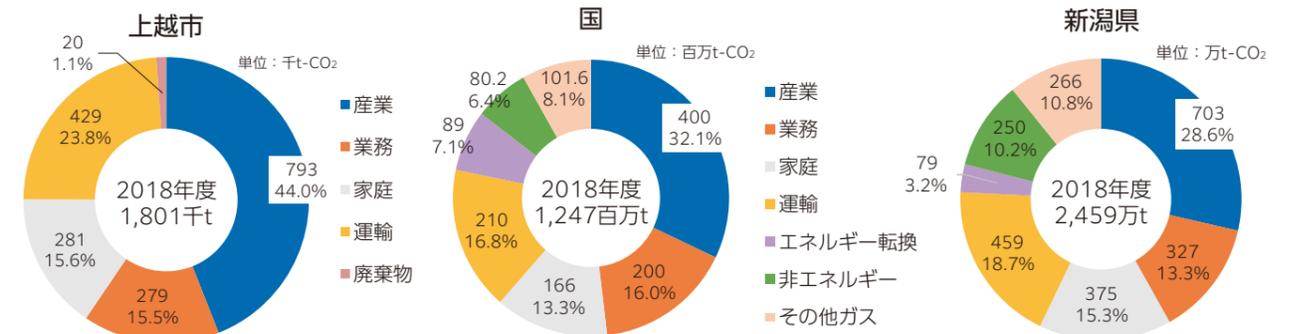
【事務事業編】 106P

2013年度比**60%削減**(エネルギー起源)を目指す

【温室効果ガスの削減実績と今後の目指す姿のイメージ(区域施策編)】



【当市の温室効果ガス排出状況の特徴】



※市が算定する温室効果ガス排出量の部門については、国・県の算定における「エネルギー転換」は対象外、「非エネルギー」「その他」は他の各部門の算定に含まれている。

【区域施策編における温室効果ガス削減目標等の数値目標】

(排出量・削減量の単位は千t-CO₂)

区分	2013年度 基準年度 排出量	2030年度の目標 (基準年度比)						削減割合の参考		
		現状すう勢による 削減見込み		対策による削減		計		削減後 排出量	国	新潟県
		削減量 (A)	削減 割合	削減量 (B)	削減 割合	削減量 (A+B)	削減 割合			
産業部門	863	-134	-15.5%	-199	-23.1%	-333	-38.6%	530	-38%	-41%
民生業務部門	354	-73	-20.6%	-106	-30.0%	-179	-50.6%	175	-51%	-61%
民生家庭部門	361	-113	-31.3%	-103	-28.5%	-216	-59.9%	145	-66%	-50%
運輸部門	451	-18	-4.0%	-118	-26.2%	-136	-30.1%	315	-35%	-37%
廃棄物部門	11	8	72.7%	-3	-27.3%	5	45.3%	16		
再エネ導入	0	0		-50		-50		-50		
森林吸収量	0	0		-111		-111		-111		
計	2,040	-330	-16.2%	-690	-33.8%	-1,020	-50.0%	1,020	-46%	-46%

※単位未満の端数処理で合計は一致しない

【区域施策編における重点施策の推進に関連する主な数値目標】

項目	現状値	2026年(R8年) 中間目標値	2030年(R12年) 目標値	現状値⇒2030	
				割合	増減量
市域における温室効果ガスの年間排出量	1,801千t-CO ₂ (H30)	1,281千t-CO ₂ (R8)	1,020千t-CO ₂ (R12)	57%	-781 千t-CO ₂
市内における再生可能エネルギー設備の導入容量	31,247kW (R3)	61,252kW (R8)	85,257kW (R12)	273%	54,010 kW
公共施設等における再生可能エネルギー設備の導入容量	3,609kW (R3)	3,907kW (R8)	4,385kW (R12)	122%	776 kW
森林組合等による市内産木材(間伐材含む。)の出荷量	11,000m ³ (R3)	15,500m ³ (R8)	19,000m ³ (R12)	173%	8,000 m ³

上越市第2次地球温暖化対策実行計画の概要(2) ～施策の体系～

